

F-REIの最近の動き

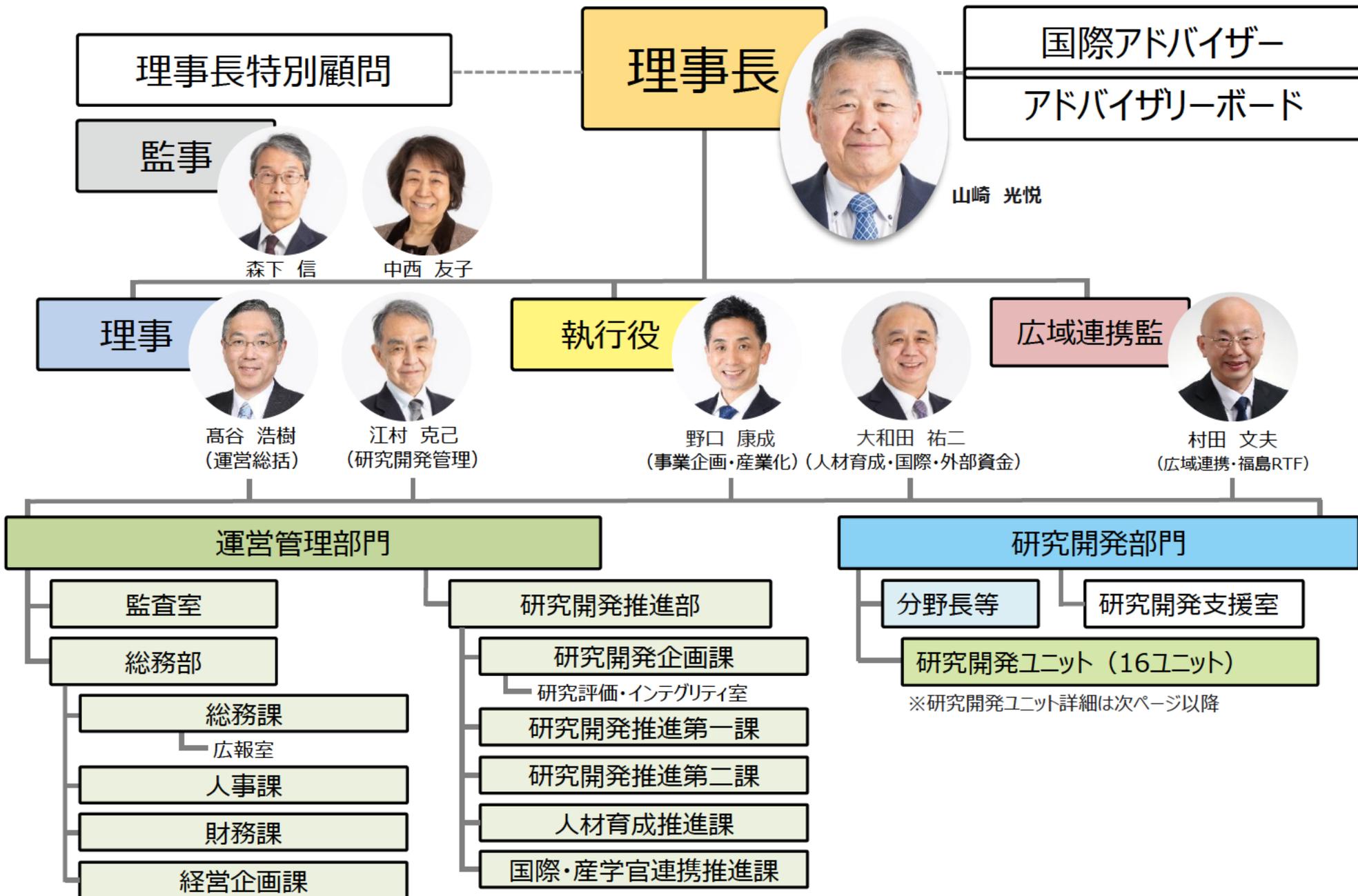
2026年2月3日

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation



福島国際研究教育機構 (F-REI) の組織体制について



F-REIの研究開発部門について

分野長等	ロボット	野波分野長
		松野副分野長
	農林水産業	佐々木分野長
		荒尾副分野長
	エネルギー	矢部分野長
		秋田副分野長
		錦谷副分野長
	放射線科学・創薬医療	片岡分野長
		山下副分野長
		茅野副分野長
		絹谷副分野長
	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信	今村分野長
		大原副分野長
出口副分野長		

▶ 専門的知見を活かし、各分野における研究開発を戦略的に推進。

研究開発ユニット	ロボット	遠隔操作研究ユニット
		自律化・知能化・群制御研究ユニット
		燃料電池システム研究ユニット
		パワーソフトロボティクスユニット
	農林水産業	土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニット
		土壌ホメオスタシス研究ユニット
		森林資源活用ケミカルイノベーションユニット
	エネルギー	水素エネルギーシステム安全科学ユニット
		森林バイオマス活用有機合成研究ユニット
		エコ水素エネルギー材料・デバイス研究ユニット
	放射線科学・創薬医療	植物イメージング研究ユニット
		放射線基盤技術開発ユニット
		放射性創薬ユニット
	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信	地域環境共創ユニット ※
		原子力災害医科学ユニット
		大規模災害レジリエンス研究ユニット

▶ 5分野において、それぞれ研究を実施。

※これまでの放射生態学ユニットの研究とJAEA及びNIESが実施していた放射性物質の環境動態研究を踏まえ、地域環境共創ユニットとして再編（令和7年4月）

分野長・副分野長

概要

分野長、副分野長は、各分野における研究開発を戦略的に推進していくため、各分野において専門的知見を有する外部の研究者を分野長及び副分野長として任命しているもの。

➤ 分野長

担当する分野における研究課題を具体化し、研究の進め方等に係る調整・管理を行い、また、将来のF-REIの研究グループの確保に向けた調整など、研究に関する総括的な業務を行う。

➤ 副分野長

副分野長は分野長を補佐し、また、分野長とは異なる専門的知見に基づく研究課題の調整等を行う。

ロボット		【分野長】野波 健蔵 (のなみ けんぞう) 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 会長
		【副分野長】松野 文俊 (まつの ふみとし) 大阪工業大学工学部電子情報システム工学科 特任教授
農林水産業		【分野長】佐々木 昭博 (ささき あきひろ) 東京農業大学総合研究所 参与 (客員教授)
		【副分野長】荒尾 知人 (あらお ともひと) 元農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター 所長
エネルギー		【分野長】矢部 彰 (やべ あきら) 新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター フェロー
		【副分野長】秋田 調 (あきた しらべ) 一般社団法人電力中央研究所 名誉特別顧問
		【副分野長】錦谷 禎範 (にしきたに よしのり) 早稲田大学ナノライフ創新研究機構ナノテクノロジー研究所 招聘研究員

放射線科学・ 創薬医療		【分野長】片岡 一則 (かたおか かずのり) 公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター長
		【副分野長】山下 俊一 (やました しゅんいち) 福島県立医科大学 副学長
		【副分野長】茅野 政道 (ちの まさみち) 量子科学技術研究開発機構 前理事
原子力災害に 関するデータ や知見の集 積・発信		【副分野長】絹谷 清剛 (きぬや せいご) 金沢大学 副学長
		【分野長】今村 文彦 (いまむら ふみひこ) 東北大学 副学長
		【副分野長】大原 利眞 (おおはら としまさ) 一般社団法人日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター 所長
		【副分野長】出口 敦 (でぐち あつし) 東京大学 執行役・副学長

令和7年8月1日（金）分野長・副分野長 （原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野）の決定

8月1日、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野において、分野長及び副分野長各1名に就任いただきました。これにより、分野長5名、副分野長9名の構成となりました。

原子力災害に関する データや知見の 集積・発信分野		【分野長】 今村 文彦 （いまむら ふみひこ） 東北大学 副学長
		【副分野長】 出口 敦 （でぐち あつし） 東京大学 執行役・副学長

令和8年1月5日（月） 新たなユニットリーダーの就任について発表

新たに「農林水産業」分野において令和8年1月1日付でユニットリーダー 1名が就任しました。
これにより、F-REIのインハウス研究体制は全 16 ユニットの構成となります。

森林資源活用ケミカルイノベーションユニット

森林資源活用のため、画期的な化学技術・プロセスに関する研究開発を行う。特に汚染木材からの放射性セシウムの除去技術を確立し、安全な用途への展開（バイオプラスチック等）を目指す。

新井 隆（株式会社ダイセル）

大阪大学大学院理学研究科修士課程修了（理学博士）
元金沢大学特任教授
現在は株式会社ダイセルにて研究に従事



※ ユニットリーダーの下にユニットサブリーダー、研究員等を今後配置予定。

F-REIにおける研究開発を、福島をはじめ東北の復興に結び付けるためには、広く企業や関係機関を巻き込みながら、実用化や新産業創出に着実につなげていく。

【令和6年度までの取組】

➤ 東邦銀行 (R6.1) や東京海上日動火災保険 (R7.2) との包括連携協力

基本合意書に基づいて、互恵的な連携協力を進め、F-REIの認知度向上、地元企業とのネットワーク構築、研究成果の社会実装などを推進。



➤ 産学官ネットワーク・セミナー (R5.10, R7.3)

東北の復興を見据え、福島県内外の企業他を巻き込んだ産学官の連携体制構築の機会とするため実施。R6年度は東邦銀行と共同で開催。



➤ 市町村座談会

研究開発・産業化・人材育成の取組における広域連携体制構築を図るため、市町村や住民、企業・団体等、多様な主体との対話の場として実施。R5年度は浜通り地域等の15市町村で、R6年度は研究テーマ別に浜通り地域で2回、中通り・会津地方で4回実施。



【令和7年度以降の取組】

➤ 産学官ネットワーク・セミナー

令和8年3月17日に福島市において、農林水産業分野の研究内容を中心に情報発信しながら、企業等とのネットワークを構築する。

➤ F-REI座談会

対話を通じて地域の産業関係者等にF-REIの研究開発内容を伝えるとともに、産業化、社会実装を見据えたネットワークの構築を図る場として開催。

○浜通り地域等ではテーマ別で開催

・令和7年7月11日 エネルギー分野 (いわき市)

・令和7年12月22日 ロボット分野 (南相馬市)

○福島県主催の福島イノベ構想参画促進セミナー

(令和7年8月7日 須賀川市、令和7年10月22日 二本松市、

令和7年12月4日 会津若松市)、

福島イノベ構想・F-REIコミュニティフォーラム

(令和7年11月14日 会津若松市)にて、F-REIの取組について説明



➤ 企業が多く集まるイベントでのブース出展

企業に向けた情報発信により機構の存在感を示し、産学連携を図るため、県内を中心にイベント等でのブース出展を積極的に行い、研究内容や進捗を説明していく。

➤ World Robot Summit 2025 過酷環境F-REIチャレンジ

災害対応やインフラ点検を担うロボットに対する性能評価手法の検討を進め、当該評価手法の普及・標準化を目的とした国際的な競技会を開催。課題解決に向けた新たなイノベーションの創出を目指し、最先端のロボット技術やソリューションの競争・実証の場。

・令和7年10月10日～12日 (福島ロボットテストフィールド)



World Robot Summit (WRS) は、ロボットの社会実装と研究開発を促進する国際イベント。2025年は大阪・福島・愛知で開催され、過酷環境F-REIチャレンジでは災害対応・インフラ点検ロボットの評価手法の標準化を目指し、4つのロボット・ドローン競技が行われた。

大会概要

- 主催：F-REI、共催：経済産業省、後援：復興庁、福島県、南相馬市、浪江町
- 日時：令和7年10月10日（金）、11日（土）、12日（日）
- 会場：福島ロボットテストフィールド（RTF）、RTF浪江滑走路、秋桜アリーナ（浪江町スポーツセンター）
- 来場者数：延べ1,464名 競技チーム：日本を含む8の国・地域から34チーム

競技概要・結果

過酷環境ドローンチャレンジ (HEDC) →産学連携チームによる自律システムと衛星通信システムが実証された

大規模災害を想定した、被災状況の調査や、被災者に対する救援物資の供給などを行う。

- 【結果】1位：ICAST（千葉大学、五百部商事、TKKワークス、Autonomy HD、スペースタイムエンジニアリング）
2位：ITRI A-Team（台湾：工業技術研究院（ITRI））
3位：MARS ZERO+UoA（南相馬ロボット産業協議会、会津大学）

プラント災害チャレンジ →異種ロボット（地上・ドローン）の役割分担と連携による効率化が勝因

デジタルツインを導入し、老朽化したプラントやトンネルにおける異常発生時の緊急対応と調査・点検を行う。

- 【結果】1位：NuTech-R（長岡技術科学大学）
2位：Quix（東北大学）
3位：MISORA+UoA（南相馬ロボット産業協議会、会津大学）

シミュレーション災害チャレンジ →操作の正確性・迅速性を高める直感的なインターフェースが勝因

プラント災害における、実機では困難な、より過酷環境下を想定したシミュレーション競技を行う。

- 【結果】1位：NITRo-UI（名古屋工業大学）
2位：REL-UoA（会津大学）
3位：SAZANKA（名古屋工業大学）

標準性能評価ドローンチャレンジ (STM) →高度なソフトウェア技術による自律運用が実証された

様々な過酷環境の要因を伴うフィールドにおいて、4つの性能について評価する競技を行う。

- 【結果】1位：Team Sogakkan（那須管財株式会社、関西学院大学総合政策部）
2位：NITRoDrone（名古屋工業大学）
3位：Raptors PL（ポーランド：Lodz University of Technology）



福島RTF開所以来初めて、RTF浪江滑走路（浪江町）からRTF本地点（南相馬市）への飛行に成功

過酷環境ドローンチャレンジ (HEDC)



トンネル事故を模した被災者探索の競技を初開催した

プラント災害チャレンジ



シミュレーション
災害チャレンジ



標準性能評価
ドローンチャレンジ



ドローン操縦を
楽しむ子どもたち
（秋桜アリーナ）

F-REI座談会は、対話を通じて地域の産業関係者等にF-REIの研究開発内容を伝えるとともに、産業化、社会実装を見据えたネットワークの構築を図る場として開催しているもの。

令和7年度も引き続きF-REI設置の効果を浜通り地域等だけではなく、復興に取り組む地域全体に広域的に波及させるため、中通り・会津地域でもF-REIについて理解を深めていただく取組を実施する。

座談会の概要

- 伝える
F-REI研究者がF-REIの研究開発の内容を直接伝える
 - 深める
F-REI研究者が地域の産業関係者等と直接対話
 - つながる
F-REIが地域の産業関係者等と直接つながり、ネットワークを構築
- －座談会のプログラム（例）－
- ・F-REIの研究開発事業に係る講演
 - ・地域の関係者とのパネルディスカッション

令和6年度 開催実績

- 浜通り地域等（テーマ別開催）
 - ・令和6年12月18日 ロボット分野（南相馬市）
 - ・令和7年3月12日 農林水産業分野（浪江町）
- 中通り・会津地域（地域別開催）
 - ・令和6年 7月18日 県中地域（郡山市）
 - 10月15日 県北地域（福島市）
 - 11月18日 会津地域（会津若松市）
 - ・令和7年 2月 5日 県南地域（白河市）

令和7年度 開催予定

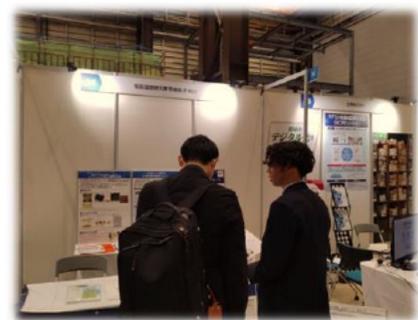
- 浜通り地域等
テーマ別で開催
 - ・令和7年7月11日 エネルギー分野（いわき市）
 - ・令和7年12月22日 ロボット分野（南相馬市）
- 福島県が主催の福島イノベ構想参画促進セミナー（令和7年8月7日 須賀川市、令和7年10月22日 二本松市、令和7年12月4日 会津若松市）、福島イノベ構想・F-REIコミュニティフォーラム（令和7年11月14日 会津若松市）にて、F-REIの取組について説明



企業に向けた情報発信を通じて機構の存在感を示すとともに、産学連携、人材確保を図るため、県内を中心にイベント等でのブース出展を積極的に行い、研究内容や進捗を説明していく。

令和7年度の実績

- 令和7年6月26日（木）
ハイテクプラザ成果展示・交流会
 - 令和7年7月18日（金）
スタートアップワールドカップ東京大会
 - 令和7年10月16・17日（木・金）
ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま2025）
 - 令和7年10月24日（金）
福島廃炉産業ビジネス総合展2025
 - 令和7年10月29・30日（水・木）
メディカルクリエイションふくしま2025
 - 令和7年11月21・22日（金・土）
ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2025
 - 令和8年1月22日（木）
ふくしま産業交流フェア
- ◆メディカルクリエイションふくしま2025◆
- ◆ REIFふくしま2025 ◆



イノベーションを創出し、新たな産業基盤の構築を通じて、立地地域等をはじめとする福島や東北の創造的復興を実現し、ひいては世界の課題解決を目指し、立地地域等において様々な分野の研究者や技術者を育成する体制を構築する。

【令和6年度までの取組】

➤ F-REIトップセミナー

- 福島県内外の大学、高等専門学校を学生を対象に、理事長等の機構のトップ陣によるセミナーを開催。
R5年度は16回、R6年度は7回実施。
- また、R6年度は、県内高校向けに、F-REI研究者によるSTEAM教育等の出前授業を、イノベ機構の事業を通じて9回実施。



➤ 連携大学院制度の拡充

東北大学大学院医学系研究科と「放射線環境生体医学連携講座」の設置に関する協定を締結(R6.3)。東北大(医学系)では、学生受け入れ・指導開始。



➤ F-REIサイエンスラボ

小中学生等が科学技術に触れる多様な機会として実施。

- 「放射線をさがせ(霧箱観察と放射線計測実習)」(R6.1)
- 「ドローンプログラミング教室」、「親子でワクワク科学教室」(R6.8)



➤ ふくしま未来創造プログラム

- 「ふくしま未来創造プログラム(R6.12)」を会津大学と共催で一部試行。

➤ その他

体験学習会(R5.10)、専門教育・リカレント教育(R6.3、R7.3)、国際メンタリングワークショップでの講演(R6.7)、大学・高専での出前講義(R5:2校、R6:6校)を実施。

【令和7年度以降の取組】

➤ F-REIトップセミナー

継続して実施。

〔会津大学(R7.5.27)、(福島大学(R7.6.11)、福島高専(R7.6.18、6.19))、筑波大学(R7.7.14)、福島県立医科大学(R7.11.7)〕



➤ 出前授業

継続して実施。年10回程度実施を予定。

〔原町高校(R7.7.4)、日本大学東北高校(R7.7.28)、磐城高校(R7.8.4)、会津学鳳高等学校(R7.10.28)、安積黎明高等学校(R7.11.26)、ふたば未来学園高校(R7.12.9)、福島高校(R7.12.17)〕



➤ F-REIサイエンスラボ

小中学生等が科学技術に触れる多様な機会として実施。

R7年度は9月13日(土)に開催。

出張版〔浪江町(R7.6.28-29)、郡山市(R7.8.3)、相馬市(R7.10.4)、福島市(R7.11.29)〕



➤ サマースクール

高校・大学生を対象に、将来の研究者となるための研究体験を行う機会として実施。

R7年度は8月25日(月)～8月27日(水)に開催。



➤ 連携大学院制度

継続して実施

➤ その他

出前講義〔相双地区理科教員向け(R7.6.27)、東北大学(R7.10.30)、獨協医科大学(R7.11.27)〕

研究体験講座(R7.8.1)

国際STEAMワークショップ in Fukushima 2025(R7.8.16～17)



地域の未来を担う若者世代を対象として科学の楽しさを伝え、理系導入を促すため実施しているもの。

令和7年度の実績

- 令和7年7月4日（金）原町高校
講師：東北大学 苅谷准教授
- 令和7年7月28日（月）日本大学東北高校
講師：石井主任研究員
- 令和7年8月4日（月）磐城高校
講師：鈴木ユニットリーダー
- 令和7年10月28日（火）会津学鳳高等学校
講師：藤井ユニットリーダー
- 令和7年11月26日（水）安積黎明高等学校
講師：林ユニットリーダー
- 令和7年12月9日（火）ふたば未来学園高校
講師：村田広域連携監
- 令和7年12月17日（水）福島高校
講師：二瓶ユニットリーダー
- 令和7年2月13日（金）原町高校
講師：大和田執行役

実施対象

福島県内の高校 等
(福島イノベーションコースト構想推進機構と連携して実施)



【参考】
2025.7.4 原町高校
出前授業の様子
(苅谷准教授担当)

F-REIの委託研究に携わっている、東北大学の苅谷智大特任准教授が講師を務め、「東日本大震災からの復興とアントレプレナーシップ」の講演題目のもと、授業を行い、震災の影響が大きかった地域に関するクイズ等を交え、学生たちと対話する形式で震災当時の状況を説明。

福島の創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代等を対象とした人材育成の取組の一環として、新産業創出等研究開発協議会の4機関を対象に、F-REI役員が自らの経験を通じて研究者としてのやりがいなどを伝えるもの。

令和7年度 F-REI トップセミナーの概要

- 開催時期：令和7年5月～10月
- 講師：山崎光悦理事長ほかF-REIの役員
- 実施内容：
以下に関する講義を実施
 - 自身の経験を通じた研究者としてのやりがい
 - 最先端の科学技術の魅力と可能性
 - 学ぶことの重要性と未来をどう築くか
 - F-REIの役割と将来像 等



実施対象

- 実施対象：新産業創出等研究開発協議会の4機関

福島大学
福島県立医科大学
会津大学
福島工業高等専門学校 別途、県外版も実施予定

令和7年度 開催実績

- 5月27日 会津大学 (山崎理事長)
- 6月11日 福島大学 (佐々木分野長)
- 6月18日 福島工業高等専門学校① (大西UL)
- 6月19日 福島工業高等専門学校② (森下監事)
- 11月7日 福島県立医科大学 (茅野副分野長)
- ※県外版 7月14日 筑波大学 (山崎理事長)



小中学生やその親子を対象に、科学技術に触れる多様な機会（体験学習会）を提供し、地域の未来を担う若者世代の人材育成を図るため実施しているもの。

F-REIサイエンスラボ - 秋のわくわく科学実験 -

○目的：県内外の小学校4～6年生の親子を対象に、夏休みの思い出づくりや自由研究に役立ててもらうため、科学実験教室を開催。

協力：独立行政法人国立高等専門学校機構、福島工業高等専門学校
後援：復興庁、文部科学省、福島県、福島県教育委員会、いわき市、いわき市教育委員会

- 開催日：令和7年9月13日（土）
- 会場：福島工業高等専門学校（福島高専）
- 参加者：県内外の小学校4～6年生とその保護者30組（60名）
- 指導者：福島高専生8名
- 内容：霧箱作成と放射線の観察実験、オリジナルLEDを作る電気工作実験



出張版サイエンスラボ

○目的：小中学生や広く一般の方に科学に触れてもらうため、福島県ハイテクプラザが主催する、ものづくりに関するサイエンスイベント「あつまれっ！ハイテクプラザ2025」にブースを出展。

- 開催日：令和7年8月3日（日）
- 会場：福島県ハイテクプラザ
- 参加者：28名（小学生25名、中学生3名）
- 内容：電子工作、プログラミング体験



【その他共催イベント】

「未来への風プロジェクト in なみえ」

- 開催日：令和7年6月28日（土）、29日（日）
- 会場：いこいの村なみえ、浪江町地域スポーツセンター
- 内容：トイドローン操縦体験、電子工作&プログラミング体験

F-REIの本施設完成後に本格実施する短期研究体験（サマースクール）について、下記のとおり令和7年度版を実施する。

令和7年度版サマースクールの概要

○目的：

F-REIの研究ユニットで研究体験を行うことで、将来研究者になりたい学生が新たな知識やスキルを学ぶためのプログラムを試行する。（将来の本格実施では、海外の学生を対象にしていくことを見据え、福島の実状を知るプログラムも積極的に取り組む。）

- 受入期間：令和7年8月25日（月）～27日（水）
- 受入れ先：遠隔操作研究ユニット
（実施場所：福島ロボットテストフィールド(RTF)）

参考：リアルハプティクス（力触覚）技術について

2024.9.30 福島民報（エフレイこどもサイエンス（ハプティクス））

- 対象機関：新産業創出等研究開発協議会構成員
（福島大学、福島医大、会津大学、福島高専）
- 参加者：5名(大学院生2名、大学生2名、高専生1名)
福島大学修士課程1、2年生
福島医大3年生、会津大学4年生
福島高専3年生

プログラム

【1日目】東京電力廃炉資料館視察 / RTF関連企業（(株)リビングロボット 代表取締役社長 川内康裕氏）による講話

【2日目】遠隔操作研究ユニットの研究に関する講義、実験 / 理事長講演

【3日目】実験を通じた課題レポートまとめ / 成果発表



F-REIのリーダーシップの下で、既存施設や大学等の各機関が福島において取り組む新たな産業の創出等に資する研究開発に関する計画等を持ち寄り、協議会での議論を通じて、研究開発力を結集するための目標やビジョンの共有を図る。

【令和6年度までの取組】

➤ F-REI協議会の組織・運営

各WGでの議論・決定等を踏まえた、新産業創出等研究開発施策の実施に関する司令塔機能の発揮を図る。7府省庁、福島県、浜通り地域等15市町村、大学、研究機関等の35の構成員が参画。R6年度までに協議会を3回、広域連携WGを3回、研究開発等WGを2回開催。



➤ 連携協力に関する基本合意書等の締結

F-REIのミッションを円滑に進めるとともに、F-REI設置の効果を広域的に波及させるため、研究開発・人材育成等における連携、双方の資源を有効的に活用した協働活動等、締結先に応じた協定を締結。R5年度は9件、R6年度は東北はじめ国内外の10件締結。



【令和7年度以降の取組】

➤ F-REI協議会の組織・運営

令和7年7月29日に第4回協議会を開催。



➤ 連携協力に関する基本合意書等の締結

基本合意書や包括連携協定等について、東北をはじめ広く国内や海外の機関も含めて締結することを目指し、積極的な活動を実施していく。

➤ 放射性物質の環境動態研究に関する統合

- ・日本原子力研究開発機構（JAEA）廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）
- ・国立環境研究所（NIES）福島地域協働研究拠点

⇒基本協定等を締結（R6.7.8）し、これらの施設における放射性物質の環境動態研究に係る部分について統合（R7.4.1）



➤ 福島ロボットテストフィールド(RTF)の統合

ロボット分野を中心とするF-REIの研究開発、産業化、人材育成に関する機能をRTFに付加することにより、RTFの更なる発展・活用を目指す。



⇒基本合意書を締結（R6.6.14）し、統合（R7.4.1）

協議会の概要

- 福島復興再生特別措置法第109条の規定に基づき、新産業創出等研究開発等施策の実施に関し必要な協議を行うため、組織されたもの。
- 協議会等の議論を通じ、研究開発における役割分担の明確化や重複の排除等により、福島全体で最適な研究開発体制を構築するなど、既存施設等の取組に横串を刺す司令塔としての機能を最大限に発揮する。

協議会の組織

協議会

- ・各WGでの議論・決定等を踏まえた、新産業創出等研究開発施策の実施に関する司令塔機能の発揮を図る
- ・7府省庁、福島県、浜通り地域等15市町村、大学、研究機関等の35の構成員が参画

広域連携ワーキンググループ（WG）

- ・研究開発・産業化・人材育成の取組におけるF-REIを核としたパートナーシップによる広域連携体制の構築を図る
- ・福島県、浜通り地域等15の市町村等が参画

研究開発等ワーキンググループ（WG）

- ・研究開発等における諸課題についての議論を実施
- ・大学、研究機関等が参画

開催実績

【令和5年度】

- 令和5年5月10日 第1回協議会（於：大熊町）
- 令和5年9月27日 第1回広域連携WG（於：楢葉町）
- 令和5年12月8日 第1回研究開発等WG（オンライン）
- 令和6年1月12日 第2回協議会（於：富岡町）

【令和6年度】

- 令和6年7月2日 第2回広域連携WG（於：広野町）
- 令和6年8月5日 第3回協議会（於：双葉町）
- 令和7年1月9日 第2回研究開発等WG（オンライン）
- 令和7年2月17日 第3回広域連携WG（於：相馬市）

【令和7年度】

- 令和7年7月29日 第4回協議会（於：南相馬市）

【第4回協議会概要】

F-REI及び復興庁から構成員に対し、研究開発の進捗や施設整備の状況などについて報告を行った後、今後の浜通り等地域の復興に向けた連携の在り方について構成員による活発な意見交換が行われた。



↑ 第4回協議会開催の様子

国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センターと 連携・協力に関する協定を締結



8月29日、国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センター（CSRS）とF-REIは、土壌生態系の理解に基づく持続可能型農業の基盤構築に向けた研究推進のための、連携・協力に関する協定を締結しました。

本協定に基づく共同研究等の実施により、CSRSの基礎科学・先端技術とF-REIのフィールド・社会実装力を掛け合わせるとともに、福島での実証を通じて、気候変動対応・低化学肥料・脱炭素という国際的課題の解決に繋がります。

＜具体的な連携事項＞

- (1) 共同研究の推進
- (2) 研究施設、設備等の相互利用
- (3) 研究者の学術交流及び人材育成
- (4) 情報発信の相互支援及び共同実施
- (5) その他、本協定の目的遂行上必要な事項

10月28日、東京大学大学院情報学環とF-REIは、研究開発や人材育成等での連携協力について基本合意書を締結しました。

この基本合意書に沿って双方の資源を有効に用いるなど互恵的な連携協力を進めていきます。

また、締結式後、東京大学大学院情報学環情報学環総合防災情報研究センター/F-REI大規模災害レジリエンス研究ユニットリーダーの関谷直也が、「東京電力福島第一原子力発電所からの処理水放出の受け止めに関する国際比較調査」と題し、講演を行いました。



連携協力に関する基本合意書（MOU）等の締結

研究開発等の機構のミッションを円滑に進めるとともに、機構設置の効果を広域的に波及させるため、福島や全国の大学、教育機関、研究機関、企業、市町村等との効果的な広域連携を進めることとし、基本合意書（MOU）や包括連携協定等を締結。

締結日	締結先
令和5年4月1日	福島工業高等専門学校
令和5年4月5日	福島県立医科大学
令和5年4月15日	いわき市
令和5年5月17日	福島大学
令和5年5月29日	浪江町
令和5年5月30日	会津大学
令和5年9月1日	南相馬市
令和6年1月25日	株式会社東邦銀行
令和6年3月8日	東北大学
令和6年6月7日	学校法人昌平黌（東日本国際大学など）
令和6年6月14日	福島県（福島ロボットテストフィールドの統合に関して）
令和6年6月14日	福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構
令和6年7月8日	福島県、JAEA、NIES（環境創造センターにおける連携協力に関して）
令和6年7月23日	量子科学技術研究開発機構
令和6年10月3日	米国パシフィック・ノースウェスト国立研究所（PNNL）
令和7年2月4日	東京海上日動火災保険株式会社
令和7年2月27日	東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU, WPI）
令和7年3月4日	英国原子力公社（UKAEA）
令和7年3月27日	筑波大学
令和7年8月29日	理化学研究所環境資源科学研究センター
令和7年10月28日	東京大学大学院情報学環



福島県、イノベ機構との連携協力



米国PNNLとの連携協力

9月16日、F-REIとCCRI（放射線諮問委員会）の合同ワークショップを、福島県南相馬市で開催しました。

本ワークショップでは、CCRI委員と国内専門家が集結し、放射線の医学応用や計量標準について国際的な視点から議論を行い、F-REIからは山崎理事長と、放射線科学・創薬医療分野の絹谷副分野長（兼 放射性創薬ユニットリーダー）が登壇しました。

当日は、現地・オンライン合わせて120名以上の方にご参加いただき、大変盛況となりました。



令和7年11月4日（火）～5日（水）

英国原子力公社（UKAEA）と廃炉ロボット技術に関するワークショップを開催

11月4日～5日、英国原子力公社（United Kingdom Atomic Energy Authority, UKAEA）と廃炉ロボット技術に関するワークショップを東京にて開催しました。

本ワークショップでは、UKAEAから廃炉ロボット技術の研究事例や社会的インパクトに関する取組などがプレゼンテーションされ、F-REIロボット分野の研究者、及び東京電力ホールディングスや日本原子力研究開発機構などの日本国内の廃炉に関わる企業、有識者と多岐にわたる意見交換が行われました。



令和8年1月19日（月）～20日（火）

英国原子力公社（UKAEA）と廃炉ロボット技術に関するワークショップを開催

1月19日～20日に、英国原子力公社（United Kingdom Atomic Energy Authority, UKAEA）からRob Buckingham氏ら関係者が来日し、廃炉ロボット技術に関するワークショップを福島県南相馬市（ホテル丸屋グランデ）にて開催しました。



本ワークショップでは、F-REIロボット分野から各ユニットの研究開発について紹介したほか、経済産業省資源エネルギー庁原子力発電所事故収束対応室や、東京電力ホールディングス株式会社、日本原子力研究開発機構から廃炉に係る現状・課題等がプレゼンテーションされました。これらを踏まえ、UKAEAとF-REI・日本国内の廃炉に関わる企業・有識者が多岐にわたる意見交換を行いました。



11月1日～2日、F-REI国際シンポジウム
“Collection and Dissemination of Data
and Knowledge Related to Nuclear
Disaster Resilience and Science”を福島
県楡葉町で開催しました。

本シンポジウムでは、「原子力災害に関するデータや知見の集積・発信」分野に関係する国内の大学・研究機関に加え、原子力災害医療科学分野に関わるICRP、IAEAといった国際機関・国際委員会の関係者が集結し、F-REIとの連携等について協議しました。

当日は、現地・オンライン合わせて100名以上の方にご参加いただき、大変盛況となりました。



「エフとも」とは

- 福島浜通り地域等を中心とした**教育・科学・文化の振興プラットフォーム**（事務局：福島国際研究教育機構（F-REI））
- メンバー機関の活動について、広域連携により取組みの効果を高めるため、**相互扶助（互助）を行う仕組み**。

次代を担う人材を育て、未来をつくっていく
取組みを応援

地域とともにコミュニティ創成を進めていく
取組みを応援

未来をつくる

- **出前授業**
研究者等による学校での出前授業等
- **F-REIインターンシップ**
企画運営・研究開発支援のインターンシップ等を提供
- **F-REIサイエンスラボ**
地域イベント等での開催など

コミュニティ
創成を進める

- **交流会**
各市町村や業務の垣根を超えた活動範囲の拡大
- **ボランティア協力**
メンバー機関主催のイベントへの相互協力
- **コミュニケーションツールの活用**
Slackを活用しチャンネル開設など

「エフとも」を通じて、
「共感」と「巻き込み」を高め、メンバー機関の取組みのインパクト最大化を図る

メンバー機関

自治体、大学等教育機関、まちづくり団体、その他浜通り地域等で活動する機関、全35団体が参画（11月28日現在）

活動実績

- 4月26日 「エフとも」設立
- 5月28日 第1回総会
- 10月21日 エフともカフェ開催（浪江町）
- 10月29日 エフともカフェ開催（双葉町）
- 11月26日 エフともカフェ開催（浪江町）
- 1月28日 エフともカフェ開催（富岡町）





F-REI

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute
for Research, Education
and Innovation